

# ほりえ眞報 32号

## 議員定数22名で決定 次期選挙から実施

平成23年3月11名の議員を委員として議会改革プロジェクトチームを発足し議会改革と定数について検討を続けてきました。この間全議員からの意見聴取、各町で開催した議会報告会でのご意見を踏まえ3月議会に最終報告。現在定数の24名、2減の22名と20名とすべきとの意見があり採決の結果賛成多数で22名で決着しました。今年11月に行われる選挙から適用されます

**新庁舎建設に基本設計・用地買収費など 2,7億円  
総額 27.4億9千万円**

平成24年度当初予算は前年度比7億9千万円増額予算に。主な歳出では携帯電話の不感地帯解消事業に約2億円。曾木・芦谷・三刀屋町奥山地区掛合町松笠・波多地区が解消されほぼ全域で通話可能に。菅谷たたら山内保存整備に約9千万円。これからテントで

覆われ解体修繕工事がスタートです。5年間の継続事業。この他掛合町多根交流センター整備に1億3千万円余など



景色も... 来殿の高木と桂燃える紅く春は年々この景色を見ることが出来ないかも。

## 中期財政計画 医療と保健の融合施設 28年度に先送り

平成24年度から28年度まで5年間の中期財政計画と実施計画が示されました。

中で議論されてきた「医療と保健の融合施設」は「市民合意が十分といえない」として先送り。より緊急性が高いとして築後44年経過している

「雲南市立病院」の改築が急浮上。改築・現地新築・移転新築を比較検討。改築が最良と判断。約六十五億円の予算が必要。24年度基本構想。

## 上神社(吉田町上山) 由緒 出雲風土記に登場 名社

棟札によれば「孝徳天皇の御宇大化3年(六四五年)に建立か。五男三女神を主祭神として祭る。八組大明神とも云う。この他武家時代に八幡宮を合殿。同合殿された吉備津社は白鳳時代(684年)天武天皇の頃 柄桶治部少資雪糸原藤十尉光正の両氏。この神を祭り始め「吉備津彦神」出雲に初めて鎮座と云々。(天和二年棟札)ある夜兩人に明神夢想あり。「今山(矢入)の大滝に住むこと久し、早くこの滝に迎えに来るべし」と告げたもう。これを受け兩人が迎え上社に請い祭る」と語り継がれる。広庭に椎の老樹あり。千数百年を経ていると思われる。飢饉の際には近村の人すらこの椎の実で飢えをしのいだと伝える。由緒に「白鳳時代創立以来千数百



社老さ 神の守り 上椎に千数百 年続けた 見まます 千を樹です。

年以上ソノ位置ヲ変ゼズ珍奇ナル。規模ハ宏壯トハ云ハズト雖モ神社ノ森嚴ヲ感ズルナリ」とある。古事記千三百年。思いは遙か悠久・白鳳時代へ...

## 高速道路吉田まで開通 急がれる活性化施設



待望久しかった高速道路が吉田町まで繋がりました。来年3月には三次ICまで開通予定です。吉田町計画された活性化施設が関係者の参画が進められて

います。ここはチェーンの脱着場やバス停でもあり高速道に昇降できるインターチェンジです。島根県・雲南市の南の玄関口として情報発信や特産品販売など大きな役割が期待されています。開通に間に合うように全力投球で願います。(写真 建設予定地)

**編集後記** こののほか長く感じた冬でした。早いもので今年も市長・市議会の改選の年です。定数も決定しました。お世話になります。健康第一でお互いに頑張りましょう。